

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 2月

事業所名 発達支援室クオール伊勢

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令に従って十分なスペースを確保しています。	現状を維持していきます。
	2 職員の配置数は適切である	○		法令で必要とされている人員を配置しています。	必要に応じて個別対応ができるようにしています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		室内はバリアフリーです。自分の荷物を片付けるロッカーや、下駄箱など目印のシールを貼りわかりやすくしています。	配慮が必要な箇所があれば調整していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		こまめに消毒及び清掃を行っています。	心地よく過ごせる環境整備を心がけていきます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		日々、職員間で情報を共有し、ケースカンファレンスを定期的に行っています。	今後もよりよい支援になるようにしていきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年に一度、保護者の方にアンケートにご協力して頂き、ご意見を受け止め、業務改善に努めています。	事業所アンケートを継続して実施します。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		事業所ホームページで公表しています。	最新の情報を公表していきます。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者による外部評価は行っていません。	必要に応じて検討していきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		月に一度、研修会とスタッフミーティングを実施しています。	今後も職員の資質向上に努めます。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		お子さんの成長・発達に応じてアセスメントを行っています。	アセスメントを適切に行い、支援計画を作成していきます。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	事業所独自の物を使用しています。	お子さんや保護者の方の状況やご要望を理解するためのアセスメントを心がけます。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		保護者の方のご要望を大切に、お子さんに必要な支援の内容をわかりやすい文章で表記するようにしています。	ガイドラインに沿った支援内容を設定していきます。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		児童発達支援計画を基に、個々に合わせた支援を行っています。	支援計画に沿った支援を考えていきます。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		支援にあたる職員で意見を出し合い、より良い内容になるようにしています。	職員間で意見が出しやすい環境作りをしています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		お子さんの特性や発達に合わせながら、季節を感じられる製作や音楽、体操などを取り入れています。	既成概念に捕らわれず、お子さんに必要な内容を考えていきます。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		特性及び発達状況に合わせて個別と集団のバランスを考えて計画しています。	現状を維持していきます。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		主担当の職員を中心に、その日の内容、動きを確認、共有しています。	職員間での連携を大切にしていきます。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		その日行われた支援について振り返り、気付いた点を共有し次につなげています。	療育後は必ず、課題や改善点を共有していきます。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の活動記録をとり、成長や発達に合わせた内容の見直しをしています。	現状を維持していきます。
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に一度モニタリングを行い、振り返りや今後の課題を保護者の方と共有しています。	現状を維持していきます。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当者会議には、児童発達支援管理責任者が出席しています。	担当者会議での内容を支援に生かせるようにしていきます。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて、幼稚園・保育園・地域の子育て支援室等との情報共有を行っています。	適切な支援が行えるように努めています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		医療的ケア児のご利用はありませんが、重症心身障がい児に関しては、お家の方を通して連絡体制をとっています。	今後も医療的なことについては連携して支援していきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			保護者の方を通して、支援内容の情報共有と相互理解をする場合と、直接、学校の先生とお話をする場合があります。	今後も、必要な事柄について情報の共有をしていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○				
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			事業所向けの研修にはできる限り参加し助言を受けています。	関係機関との連携を大切にしていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		保育園・幼稚園との併行通室の子どもたちですので、特に機会は設けていません。	必要に応じて実施していきたいです。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			可能な限り参加しています。	現状を維持していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			保護者の方には送迎時や連絡ノートで情報を共有しています。個別面談もしています。	現状を維持していきます。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			ご家庭での困りごと等については個別にご相談の時間を作っています。	今後も継続していきます。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時にお話をしています。	現状を維持していきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			お子さんや保護者の方の要望を確認し、長期及び短期目標を保護者の方と共有し、同意を頂いています。	今後も、支援内容を明確に計画に示し、ご理解頂けるようにしていきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			ご相談にはその都度、対応しています。必要に応じて個別面談の時間を設けています。	現状を維持していきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者会はありません。	ご要望があれば検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情に関しては相談窓口を設けています。	いつでもご相談をしてもらいやすい関係作りを目指します。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			毎月、お便りを発行し、子どもたちの様子をお知らせしています。	今後も継続していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			職員一同、十分に気をつけるようにしています。	現状を維持していきます。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			お一人お一人の状況に合わせた、分かりやすい対応を工夫しています。	現状を維持していきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			ご招待はしていませんが、地域の方との関係を大切にしています。	地域の方々にもご協力頂ける関係作りを目指します。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルを策定し、職員に周知すると共に、毎月、訓練を実施しています。	定期的な訓練を今後も継続していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		避難訓練は毎月実施し、一年に一度、消防署と連携した訓練を実施しています。	今後も非常災害の発生に備えて定期的に訓練を実施していきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		ご利用開始時にお子さんの状態についてお聞きしております。	日々の体調や服薬等について確認することを継続していきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者からの申し出に対応しています。	現状を維持していきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事故報告書、インシデント報告書を使用して、危険事項の共有をしています。	今後も継続していきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止委員会を作り、意識向上のための研修を実施しています。	今後も継続していきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		医師の指示の元、必要な場合は保護者の同意書を頂き、計画書に明記しています。	現状を維持していきます。